

【確認！】記憶系テスト勉強の大原則【重要】

1.記憶は思い出した回数に比例して強くなる。

だから、記憶したいものは…

- ①記憶が完全に定着して、応用・実践問題に移るまでは、1問に時間を3秒以上かけない！
- ②とにかくスピードを上げて、同じ問題を何度も繰り返す。
- ③書いて憶えるのは時間の無駄なので、「スムーズに思い出せる」ようになった後！

2.反復する場合は一定時間を空けることで記憶が強くなる。

だから、間違えた問題は…

- ①すぐに答えを確認して「あ、そうか！」という体験をする。→付箋を貼っておく
- ②その日の夜、寝る前に必ず何も見ないで解き直す。
- ③2日以上あけた週末に解き直す。→すんなり解けたら付箋をはがす。
- ④単語や漢字などは、最低10個以上をセットにする。同じものを連続しない。

3.理解・手順が不完全なものは憶えられない。

だから、証明などの記述問題は…

- ①1度、模範解答を分析しながら読む。(段落や流れなど構造をとらえる。)
- ②模範解答を写す。
- ③模範解答を下敷きなどで隠し、思い出しながら書いてみる。出てこないところはすぐに模範解答を確認する。
- ④スムーズに書けるようになるまで繰り返す。

4.初見の問題でスムーズに解けたら完成！

だから、試験勉強の仕上げは…

- ①標準問題、応用問題の間違った問題がスムーズに解けるようになるまでやる。
- ②2度以上間違えた問題はノートに整理しておき、テスト前日にチェックする。
- ③まだ解いたことのない問題を解いてみる。スムーズに全問正解するか確認する。
- ④スムーズに解けない問題も、チェックをした上で(後で解き直すため)、ある程度の時間をかけて丁寧に取り組む。
- ④そこで間違えた問題、時間がかかった問題は、丁寧にやり直しておく。
- ⑤テスト直前に間違えた問題・時間がかかった問題だけやり直す。